

ヨウスコウワニ

あかたんじょう の赤ちゃん誕生

7月9日と11日に、ヨウスコウワニの赤ちゃんが産まれました。日本では初めての繁殖で、世界でもあまり例がないことです。担当者たちが様々な工夫をしながら飼育して、現在も順調に成長し続けています。

みなさんにこれまでの経過をお知らせします。



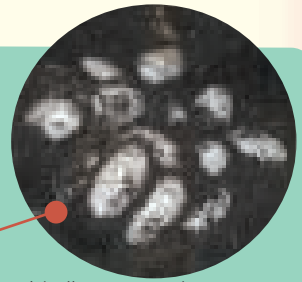
▲ふ化装置

ヨウスコウワニは中国に住んでいる小型のワニです。

野生では、環境破壊などにより個体数が減っていて、飼育下での繁殖が必要とされています。

5月14日に、メスが20個の卵を産みました。

卵は産卵場所からすぐに取り出しふ化装置に入れ、温度などに気をつけながら、ふ化を待つことにしました。20個のうち4個が有性卵で、そのうち3個が順調に成長を続けました。



卵が産まれて56日目の7月9日に最初の1匹がふ化しました。

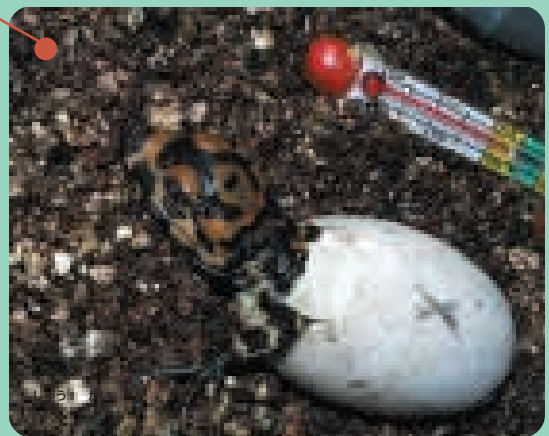
続いて11日に残りの2匹も無事にふ化しました。

子ワニは体長20センチくらいで、親とは違い、黄色と黒のバンド模様が入っています。

餌付けは、ふ化1週間後にコオロギを使って行いました。子ワニはとても神経質で、最初の餌付けに苦労することが多いようですが、無事に食べてくれました。

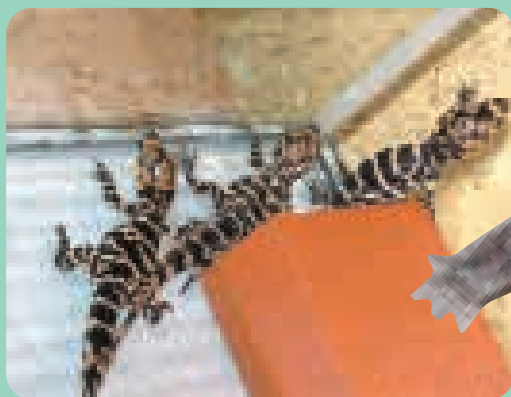
現在は、カルシウムとビタミン剤をまぶしたコオロギを週2回、ネズミの赤ちゃんを週1回与えています。

今はまだ展示しておりませんが、もう少し大きくなったらみなさんにお披露目しますので、楽しみに待っていてください。



お知らせ

ちゅうるいかん こんちゅうかん
は虫類館・昆虫館・
ねったいしょくぶつかん とう
熱帯植物館は工
事のためしばらく
くご覧いただけ
ません。



わにの
おかあさん